

大学連携ボランティア（桜美林大学野球）最終報告会 挨拶（仮訳）

2025年2月27日

JICA コスタリカ 所長 吉田 憲

於 コスタリカ外務省

みなさま、おはようございます。

サントドミンゴ野球協会の皆様、コスタリカ野球連盟、アラフエラ野球協会、コスタリカ外務省、スポーツ庁、MIDEPLANの皆様、日本国大使館、そして、隊員のホームステイ先の皆様等、協力隊員受け入れにあたっては大変お世話になりました。

日本でも有数の強豪校である桜美林大学の学生のはつらつとした動きを見ることができたのは大変感動的でした。1か月間の滞在中、野球選手らしく、大きな声、キビキビした指導がありました。これに応え、各野球協会やホームステイ先のご家族の皆様は暖かく隊員を受け入れて頂きました。

コスタリカでの野球協力が1979年から始まって、今年で46年目。この間、95人の隊員が野球の指導を行いました。2016年からは桜美林大学との連携協力が始まって74名に参加頂きました。日本の国民スポーツと呼ばれる野球は単なるスポーツではありません。日本文化や日本の規律を体現したスポーツでもあります。

と同時に、桜美林大学の建学の精神である、「キリスト教精神に基づく国際人の育成」が同じくキリスト教国であるコスタリカにおいて、まさにコスタリカ人と日本人の協働の事業としてこの野球を通じた国際協力として成立していると考えます。

JICAはこの青年海外協力隊事業を通じて、コスタリカ人一人ひとりと日本人一人ひとりを繋げる国際協力を展開していきます。桜美林大学の皆様、受け入れていただいた、全てのコスタリカ人に感謝致します。そして末永くこの信頼関係を深める野球協力を続けていくために、これからも皆さんで力を尽くしていきたいと思っております。